

8月1日	木	15:00 ～ 16:40	口腔ケア事業 第2回 研修会 ポジショニングについて講義と実習 場所：特別養護老人ホーム 南山苑 講師：医療法人誠佑記念病院 診療技術部リハビリテーション室 理学療法士 北出真則先生 アドバイザー：伊都歯科医師会 加藤歯科医院 加藤大太郎先生 参加者：合計14名（施設内 6名 施設外 2名 協力歯科医師6名） テーマ「口腔ケアと食事のための姿勢づくり」 “ベッド・車いすでの姿勢を整える” 食べることは生命維持に必要なこと。しかしそれ以上に楽しみでもある。車いすやベッド上生活を強いられている方にとって、姿勢の崩れがあると、姿勢に意識が集中し痛みや不快感が生じる。そうなると食事をとることもできなくなるうえに、生きていく上での楽しみさえ奪ってしまうことになりかねない。今回の研修で姿勢づくりのポイントを学び、今まで実施してきたことを見直す機会になっていただければと思う。更に、机上だけでなく、自分が体験することで学べるが多い研修会でした。 
8月6日 8月9日	火 金	13:00 ～ 15:30	口腔ケア事業 事前評価 特別養護老人ホームひかり苑・天佳苑 8月9月10月の3か月にわたり、口腔ケアの研修が始まります。 研修が始まるまでに、了解のとれた入所者様約100名に、2日間かけてBDR指標評価（口腔ケア自立度判定）と3項目の口腔内の評価を実施しました。 スタッフの方はとても協力的でどの方にも声をかけても適切に対応していただき、予定よりも早く終了することができました。 
8月7日	水	13:30 ～ 14:30	薬剤師会出前講座 九度山町 サロン井戸端会 テーマ「お薬の正しい使い方」 コジマ薬局 児嶋薬剤師 参加者 15名 とてもとても暑い日で参加者もいつもに比べて少ないとお聞きました。でも、参加されている方はとても熱心で、質問も多く飛び交いました。講師からは、お薬手帳の正しい使い方、かかりつけ医師とかかりつけ薬局を持つことでのメリット、睡眠薬と転倒から体に及ぼす影響などとても分かりやすい回答をいただきました。ほとんど薬が増えると思っている方は、以前に医師に言った症状が改善したことも忘れず伝えましょう。医師に言いにくいときは、薬剤師に相談いただければお伝えすることもできますよ。等、医師よりも身近にいる存在、相談できる窓口でもあることを伝えていただきました。「なんか安心したな。」という声も聞こえてきました。 中には、これだけ情報がオンライン化されているのに、お薬情報もオンライン化は考えられていないのか？など、今まさしく取り込もうとしている「医療介護情報の一元化」についても前向きな意見を頂戴いたしました。 

8月8日	木	17:30 ～ 20:00 ～ 21:00	口腔ケア事業 第2回 研修会 ポジショニングについて講義と実習・施設内ラウンド 場所：介護老人福祉施設 やまぼろし 講師：医療法人誠佑記念病院 診療技術部リハビリテーション室 理学療法士 北出貴則先生 アドバイザー：伊都歯科医師会 うちた歯科 内田憲二先生 参加者：合計44名（施設内28名 施設外11名 協力歯科医師5名） 内容は8月1日の南山苑と同様。 会場が広くないので、参加人数は少ないと思い、施設内ラウンドを計画していました。しかし、大勢の参加がありベッドや車いす等時間制限があり、全身体験できなかったことはお詫び申し上げます。体験で先生に直接指導いただけなかった方は、あと1回ひかり苑でチャンスがありますとアナウンスして強制終了いたしました。 施設内ラウンドでは、北出先生の「患者様愛」が炸裂。時間を忘れ、熱心に心を込めて対応していただきました。姿勢を整えることができると、自分で動かすことができなかった下肢を動かすことができるように・・・動かせる体制をとることで能力を最大限に発揮できるようにしてあげないといけなのですね。参加者からは、「ヘー」とか「ほー」とか「なるほど」とかいう声しか聞こえませんでした。
			     
8月22日	木	15:00 ～ 16:30	口腔ケア事業 第1回 研修会 口腔ケアの基礎知識（講義） 場所：特別養護老人ホーム ひかり苑・天佳苑 講師：伊都歯科医師会 おかだ歯科クリニック 岡田隆秀先生 参加者：合計41名（施設内29名 施設外8名 協力歯科医師4名） 内容は7月18日南山苑様と同様です。 今回は土田歯科医師会長の挨拶からはじまりました。講義の途中ハッピーターンを使い咀嚼や嚥下を行うため、終始和やかに研修が進みました。事前質問の内容、特に「義歯の取り扱い」についてを重点的に話をさせていただきました。施設の平野主任は「嚥下機能が悪いどうしても食事形態に気配りして、刻んだりトロミをつけたりしていたが、おいしく楽しく食べていただけるよう、まずケアから見直しをしていく必要がある。」と感想を述べられました。・・・こんな風に考えていただくことが本当に開催側もやっていてうれしく思います。
			       
8月22日	木	19:30 ～ 21:00	薬剤師会による医療・介護職の連携研修・意見交換会 場所：アザレア 2階 参加者：合計34名（医師3名 歯科医師1名 看護師3名 行政4名 薬剤師21名） 内 容 在宅患者の服薬困難事例について 前田至規先生 服薬支援機器「eお薬さん」説明会 エーザイ担当者 薬局薬剤師の在宅医療業務について 田中久美子薬剤師 意見交換会 アドバイザー：前田至規先生 司会：西前多香哉薬剤師 遅い時間にも関わらず熱心に参加いただきました。服薬困難事例の紹介もあり実際に役立つケースを報告いただきました。また、薬の飲み忘れ防止のために開発された「eお薬さん」はオンライン化することでさらに親切で便利に使用できるものと知りました。現場で困っているケアマネージャーさんにも、もう少し出席いただきたかったなあ～広報が足りなかったと反省いたしました。 この研修会を機に、診療所内カンファレンスに薬剤師会も参加いただけることになりました。服薬困難なケースについても色々相談・アドバイスいただけたと思います。
			     

8月27日	火	16:00 ～ 17:00	診療所内カンファレンス 前田医院 21名参加 伊都薬剤師会ごんべえどり渡邉薬剤師参加 13症例のカンファレンスを実施 症例の報告が多く、CMが積極的にケースの提出をいただいていることに感謝いたします。その中でも認知症のかたにカレンダーを活用した指導や、デイリハをドタキャンする背景を理解するなど、ご苦労がよくわかりました。 しかし、介護のトップマネージャーとして医師に頼るべきことか、事業所内で相談すべきことが判断に困るケースもありました。いろいろな職種が集うカンファレンスで、このようなケースを話し合う機会にできるように包括とともに協力していきたいと思います。
8月28日	水	14:00 ～ 15:00	診療所内カンファレンス 萩原内科小児科 13名参加 13症例のカンファレンスを実施 以前、九度山町では日本指折りの介護保険認定率でした。しかし、審査の適正化を図り、必要な方に適切にサービスを受けていただけるように・・・と行政側は努力されてきたとお聞きしました。しかし、現場では「窓口に行っても門前払い。」「受付さえしてもらえない。」といったケースが包括に駆け込まれるということが起こっているようです。九度山地域で検討し、需要と供給について共通理解が必要になってきています。